

地域計画

策定年月日	令和7年3月21日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	伊勢原市 14214
地域名 (地域内農業集落名)	成瀬地区 (北高森、石田、下落合、見附島、下糟屋、東富岡、栗窪、前高森、小金塚)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	82.84 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	82.66 ha
② 田の面積	38.50 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	42.87 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.34 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
(参考)71才以上の地域内の農業を担う者における農地面積の合計	3.23 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.84 ha
(備考) 遊休農地面積 0.80ha	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

①令和2年の人・農地プランアンケート調査結果によると、成瀬地区内の約4割が農地の扱いに困っており、かつ約8割が農業後継者がいない・未確定という状態であることから、今後、農業衰退化及び遊休農地の増加が加速してしまう傾向にある。
②令和6年の農地の経営意向調査によると、71才以上の地域内の農業を担う者のうち、後継者不在とする農地面積の合計は0.84haあり、新たな農地の受け手の確保が必要。
③カラス等による鳥獣被害が多く、トウモロコシなどに被害が出ている。
④農業機械の買い換えが資金的に難しい。また、大型機械が進入できない農地がある。
⑤農薬の使用回数や化学肥料の窒素成分量を低減する特別栽培米に取り組んでいる地域がある。
⑥酪農家による飼料作物の栽培は既にかかなりの面積を受け持っており、これ以上の規模の拡大は集積・集約化による効率化が図られないと厳しい。
⑦個々の経営体が考えを持って農業をしているので、集団化や産地化に向かうのは難しい。
⑧高齢化が進んでいる中で、農地の現状維持でも苦労しているのに、作業量が増える有機農業に切り替えることは難しい。
⑨農業だけで家族を養うのに十分な収益を確保することが困難な状況である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当該地区は、中央に小田急線や国道246号が横断しており、北側には工業系の大企業や大学病院、南側には工業団地や商業施設、全体を通じて住居系の大規模団地が多く張り付いている。

農地の多くは、主に市街化区域と接した北西部と南西部に集中しており、北側では畑作や酪農、南側では水田や畑作を中心とした農業が営まれているが、住宅地や商工業地など地域と共生した農業経営が求められる。

しかし、市内でも伊勢原地区に次いで人口や世帯数が多く、愛甲石田駅をハブとした関係人口の流動も見込めること、厚木市や平塚市に隣接していることなど、大消費地としてのポテンシャルを発揮することにより、都市農業地域として農地利用の最適化を展開していく。

①地域の中心経営体等への農地の集積・集約化を推進するとともに、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。

②有機農業エリア、慣行農業エリア、新規就農者を受け入れるエリアなど地域の方針に合わせて集積・集約化のエリア分けを検討する。

③新規の担い手が参入しやすいように、農地バンク等の情報に、使用可能な農業施設や接道の有無などの付加価値のある情報を加えるとともに、ある程度まとまった農地の情報を提供できるよう情報の集約化に向けた取組を進める。

④廃農する農家と担い手や新規就農希望者等とのマッチングによる経営委譲(農地、機械、販路、技術など)の取組を検討する。

⑤多様な経営体の確保として、定年退職者や半農半X等が農業参入しやすい仕組み作りを検討する。

⑥基盤整備については、必要となる地域を検討し、地元自治会を通して要望をあげ、段階的に取り組んでいく。

⑦県補助制度等を活用し、スマート農業の導入を検討する。

⑧援農ボランティアの導入の検討、農福連携の活用等による労働力の補填を図る。

⑨収穫期の労働力不足を補うため、農泊等の体験事業を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付けを進め、耕作地に応じて認定農業者等の主要な担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進させる。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	22.34	%	将来の目標とする集積率	25.00	%
--------	-------	---	-------------	-------	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地中間管理機構の活用により、農業を担う者への農地の集積・集約を進め、団地数の減少及び団地面積の増加を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

①農地中間管理機構を活用して、認定農業者等の主要な担い手への農地集積・集約化を図るとともに、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進させる。

②有機農業エリア、慣行農業エリア、新規就農者を受け入れるエリアなど地域の方針に合わせて集積・集約化のエリア分けを検討する。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

農地中間管理機構への農地の貸し付けを推進するとともに、担い手の経営意向を考慮し、段階的に集約化を進める。

(3) 基盤整備事業への取組

基盤整備については地元や地権者の同意が必要となることから、整備の必要性や優先度については、地域により地元自治会等と調整を行い、地域としての要望をまとめ、段階的に取り組んでいく。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

定年退職者や半農半X等の小規模での農作業を希望する者が農業参入しやすくなるように、就農制度の見直しや地域による受入の環境づくりに向けた取組を検討する。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

①農業者の高齢化による労働力の減退や、農業を担う者の農地の規模拡大に向けた労働力の確保のため、援農ボランティア制度の導入を、市、JA等の関係機関により検討する。

②県の農福連携マッチング事業の活用による、福祉事業所への作業委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策について、関係機関・地域で連携して取り組んでいく。
 ②有機農業を推進するエリアの設定を検討するとともに、新規就農者の受入等により段階的に取り組んでいく。
 ③県補助金等の活用によるスマート農業の段階的な導入を検討する。
 ⑧使われていない農業用施設等の情報を集約化し、地域の担い手等との利用のマッチングを推進する。
 ⑨飼料作物の取組を維持するとともに、農地の集約化等による栽培作業の効率化を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	29経営体		16.92 ha	1.59 ha		16.58 ha	1.59 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

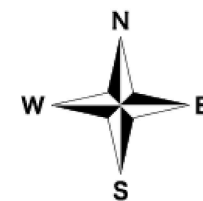
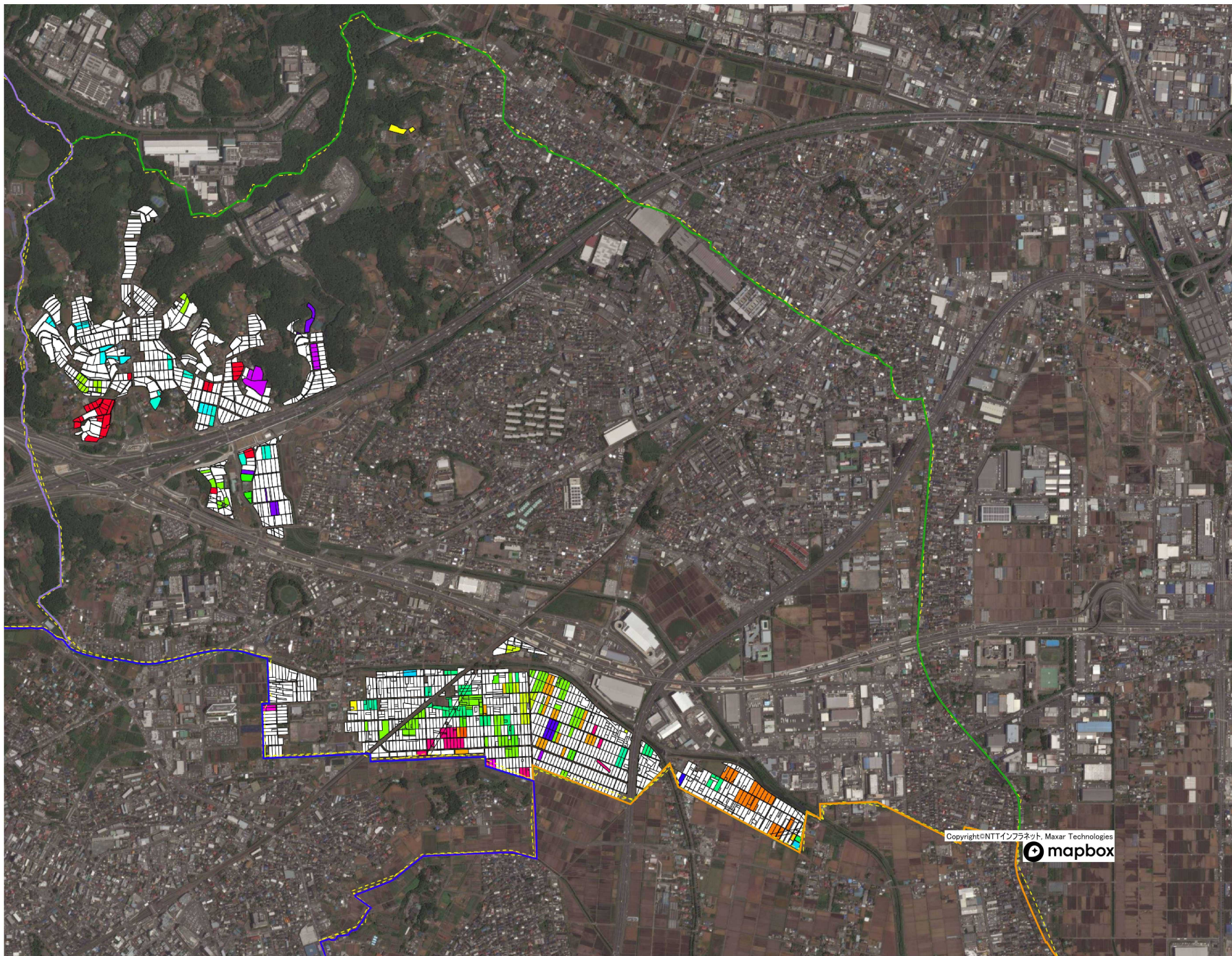
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	1	水稻	1.67 ha	0.00 ha	水稻	1.67 ha	0.00 ha	1	
2	認農	2	施設野菜、 露地野菜、 水稻	0.05 ha	0.06 ha	施設野菜、 露地野菜、 水稻	0.05 ha	0.06 ha	2	
3	認農	3	露地野菜、 施設野菜	0.14 ha	0.00 ha	露地野菜、 施設野菜	0.14 ha	0.00 ha	3	
4	利用者	4	施設苺、 露地野菜、 水稻	0.84 ha	0.00 ha	施設苺、 露地野菜、 水稻	0.84 ha	0.00 ha	4	
5	認農	5	水稻、 露地野菜、 大豆	3.58 ha	0.35 ha	水稻、 露地野菜、 大豆	3.58 ha	0.35 ha	5	
6	認農	6	きのこ、 筍、果樹	0.35 ha	0.00 ha	きのこ、 筍、果樹	0.23 ha	0.00 ha	6	
7	認農	7	水稻、 露地野菜	0.74 ha	0.96 ha	水稻、 露地野菜	0.74 ha	0.96 ha	7	
8	利用者	8	ユリ、 小菊、 アジサイ	0.78 ha	0.00 ha	ユリ、 小菊、 アジサイ	0.78 ha	0.00 ha	8	
9	認農	9	水稻	0.12 ha	0.00 ha	水稻	0.12 ha	0.00 ha	9	
10	認農	10	稲作、 露地野菜	0.33 ha	0.00 ha	稲作、 露地野菜	0.33 ha	0.00 ha	10	
11	認農	11	水稻、 麦類作	0.08 ha	0.00 ha	水稻、 麦類作	0.08 ha	0.00 ha	11	
12	到達	12	酪農、 水稻、 露地野菜	0.50 ha	0.00 ha	酪農、 水稻、 露地野菜	0.50 ha	0.00 ha	12	
13	利用者	13	酪農、 水稻、 露地野菜	0.63 ha	0.00 ha	酪農、 水稻、 露地野菜	0.63 ha	0.00 ha	13	
14	認農	14	果樹、 水稻	0.13 ha	0.00 ha	果樹、 水稻	0.13 ha	0.00 ha	14	
15	認農	15	施設野菜、 露地野菜	0.06 ha	0.00 ha	施設野菜、 露地野菜	0.06 ha	0.00 ha	15	
16	認農	16	花卉、 水稻	1.00 ha	0.00 ha	花卉、 水稻	1.00 ha	0.00 ha	16	
17	認農	17	酪農、 飼料用作物、 水稻	1.64 ha	0.00 ha	酪農、 飼料用作物、 水稻	1.64 ha	0.00 ha	17	
18	認農	18	成鶏	0.11 ha	0.00 ha	成鶏	0.11 ha	0.00 ha	18	
19	認農	19	水稻、 露地野菜	1.26 ha	0.00 ha	水稻、 露地野菜	1.26 ha	0.00 ha	19	
20	認就	20	多肉植物	0.18 ha	0.00 ha	多肉植物	0.18 ha	0.00 ha	20	
21	認就	21	施設野菜	0.10 ha	0.00 ha	施設野菜	0.10 ha	0.00 ha	21	
22	認就	22	露地野菜	0.52 ha	0.00 ha	露地野菜	0.52 ha	0.00 ha	22	
23	認農	23	水稻	0.19 ha	0.22 ha	水稻	0.19 ha	0.22 ha	23	
24	認農	24	酪農、 水稻	0.05 ha	0.00 ha	酪農、 水稻	0.05 ha	0.00 ha	24	
25	認農	25	酪農、 飼料用作物	0.54 ha	0.00 ha	酪農、 飼料用作物	0.54 ha	0.00 ha	25	
26	認農	26	酪農、 飼料用作物	0.83 ha	0.00 ha	酪農、 飼料用作物	0.83 ha	0.00 ha	26	
27	認農	27	酪農、 飼料用作物、 水稻	0.10 ha	0.00 ha	酪農、 飼料用作物、 水稻	0.10 ha	0.00 ha	27	
28	認農	28	酪農、 水稻、 飼料用作物	0.18 ha	0.00 ha	酪農、 水稻、 飼料用作物	0.18 ha	0.00 ha	28	
29	到達	29	水稻、 果樹、 露地野菜	0.22 ha	0.00 ha		0.00 ha	0.00 ha		



目標地区(確定)

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 検討中
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28

Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies

